

渋谷綾子・野村朋弘・高島晶彦・天野真志・山田太造 「考古学・植物学を活用した松尾大社社蔵史料の料紙 の構成物分析」『東京大学史料編纂所研究紀要』第31 号

分析結果の再検証を可能にするため、本論文の各図版に使用した顕微鏡撮影画像、および料紙に含有されたデンプン粒の解析に用いた関連データを公開しております。顕微鏡の撮影画像は改変を行っていないオリジナルのデータであり、画像のダウンロード後に拡大・縮小での検証が可能です。デンプン粒の解析には、透明性の高いソフトウェア環境Rを用いて、分析データの分布や構造の可視化を実施しました。なお、画像データの著作権はすべて著者らに帰属します。

データの内容

図2：顕微鏡撮影画像3点

fig2(1) = 目録番号273「徳川家康朱印状」 fig2(2) = 目録番号90「織田信長朱印状」

fig2(3) = 目録番号275「徳川家光朱印状」

図2.pdf

図3：図3の作成にもちいたデータ一式

ryoshi-starch.csv = デンプン粒のCSVファイル

starch-data = Rマークダウンのファイル（Rmd、HTML、Word）

fig3 = 作成した図（本論文の図3に使用）

図3.PDF

図4：顕微鏡撮影画像4点

fig4(1)1 = 目録番号12「光厳院院宣」シバンムシ類の付着箇所

fig4(1)2 = 目録番号12「光厳院院宣」

fig4(2) = 目録番号330「仁孝天皇綸旨」

fig4(3) = 目録番号10「後醍醐天皇綸旨」 図4.PDF